

シリーズ 市政の今 特別編

次期総合計画策定に向けて②

審議会委員・市民ワークショップ参加者に聞く まちの理想を求めて

次期総合計画策定までを、年間を通してお伝えする「シリーズ 市政の『今』特別編」。今月は総合計画審議会委員や市民ワークショップの参加者の皆さんに、将来の舞鶴への思いなどをお伺いしました。

総合計画審議会 委員長



舞鶴工業高等専門学校 校長 齋藤 福栄さん

舞鶴市総合計画審議会では、まちの未来を描くうえで大切にすべきことなどについてとりまとめ、今後、市長へ答申を行います。そのために「市民ワークショップ」で出された意見や市民アンケート結果なども踏まえて議論を深めているところです。今回は、審議会委員や市民ワークショップ参加者の声をお届けします。

総合計画審議会 副委員長



舞鶴商工会議所 会頭 小西 剛さん

**ま** ちづくりを進めていくために「ぶれない筋」を一本通すという意味で、大きな方向性を総合計画という形で作ることは、とても重要なことだと考えています。意義のある大切なテーマは数多くありますが、私は「舞鶴の良さを生かした、市民が幸せを感じられるまちづくり」というところに集約されるのではないかと感じています。

市民の皆さんといっしょにプランニングしていくのは大切なプロセスです。今回の総合計画の策定にあたっては、市民アンケートや市民ワークショップで意見を吸い上げる仕組みがあり、計画の作り方としては非常に良い手法だと思っています。委員の皆さんはそれぞれにバックグラウンドがあり、「熱い思い」を持って集まっていたのだと感じており、活発な議論が期待できます。その中で出てきた意見を計画に反映した、市民の思いを生かしたまちづくりのための総合計画となることを願っています。

**夢** を持つためには元気が必要、元気でいるためには夢が必要。これが私の考えです。そして、まちづくりのための「元気」とは活発な経済活動であり、まちの「夢」となる総合計画は経済の発展を目指したものでなくてはなりません。「元気」と「夢」は相関関係にあるのです。私は舞鶴商工会議所会頭という立場ですので、市の経

済界を担う者の一人として、経済の活性化を目指す視点から審議会で見聞を述べていきたいと思っています。舞鶴にはまだまだ生かせる素材と潜在能力があります。交流人口が増加している今、地元工業者、中小企業者の実利に結び付けるための知恵が必要だと思います。夢を夢で終わらせないために、それらを活用し、「みんなが稼げるまち」をつくっていくことが必要だと考えています。そうすることによって生まれる「ゆとり」が、文化を育み、市民の皆さんの人生を豊かにし、まちを元気にする好循環を生むのではないのでしょうか。

総合計画審議会 委員



舞鶴市PTA連絡協議会 副会長 風川 晴子さん

ば嬉しいことですね。他の委員の皆さんからも刺激を受けながら、理想のまちについて、いろいろな意見を交わしたいと思います。

総合計画審議会 委員



地域密着型介護老人福祉施設 ライフ・ステージ舞鶴 施設長 上野 由香子さん

出せないという人たちに向けた仕掛けが必要だと感じています。自分たちも社会に求められていて貢献できるといふことを、身近な活動の中で自覚できるきっかけのようなものがあかなと。いずれにしても、市の大きな方針としての計画の策定に関わる良い場に

あるまちづくり「グループに参加しているのですが建設的な意見が多く、参加者の舞鶴を良くしたいという気持ち」が伝わってきます。「活力があるまち」とは、いったい何だろうかと思ってみると、私は「仕事や趣味、子どもとの時間など、活動し続けられるまち」なのかなと考えています。まちの皆さんが、それぞれ夢中になれることや頑張れることで充実しているという状態をイメージしていて、そういう方向に進めばいいなど感じています。

また、私の子どもが入っている舞鶴のレスリングチームが、大阪遠征に行けばマークされるほど強いチームになっているのですが、同じように、仕事の分野でも、趣味の分野でも、全国の人から、なんか聞いたことがある」と、注目されるまちになればいいなと思っています。

**地** 域ぐるみで子どもを大切に育てるまちが私の理想です。例えば、外出中に赤ちゃんが泣いた時、母親が周りに遠慮して肩身の狭い気持ちにならないように、周りの人が、温かく見守って、応援や手助けをしてあげられるような関係が大切なのではないかと思っています。核家族化が進む社会の中で、孤立している家庭がないように行政だけでなく、地域の人たちが子育てを支え合う優しいまちになるといいなあ……。

**福** 祉現場を見てきた経験を生かして、社会的弱者の人たちの思いが、まちづくりの中から外れないように意見・提言していくことが、私の審議会での役割だと思っています。高齢になっても元気な人には役割を担って地域で活躍してもらおうことが、生き生きとした社会につながると思っています。そのためには、「社会参加をしたい気持ちはあるけれども、1歩が踏み

**市** 民ワークショップ 参加者 民ワークショップでは、テーマごとの各グループで意見を出し合い、その結果を総合計画審議会委員に提出します。私は「活力



薬剤師 土下 喜正さん

活発な意見が交わされる 総合計画審議会

